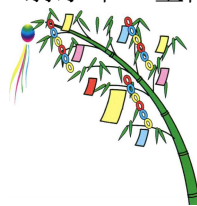


至徳

射水市立金山小学校 学校だより

令和3年7月7日

第8号



七夕かざり

6月29日(火)、竹に七夕飾りを取り付けました。今回の飾り付けは、猿楽小学校と本校のPTAの方が企画してくだしました。竹はPTAの方が切り出し、猿楽小学校に送ったり、本校に運んだりしてくださいました。短冊は両校の児童が2枚ずつ書き、1枚は相手校に送り、もう1枚は自校の竹に取り付けます。

1年生の取り付けでは、6年生が手伝いました。「どこに付けたい?」と聞いてあげたり、「ここをもって、このひもを回して付けます。できる?」と教えたり、短冊を付ける際に枝を持って付けやすくしてあげたりするなど、本校の子供たちの優しさを感じる場面がたくさん見られました。

短冊には、「新型コロナウイルスが終わりますように」「はやく金山の人に会えますように」「金山小学校のみんなが元気でいられますように」「みんながにこにこえがおですごせますように」のように現在の状況を反映したしたものや、「持久走記録会で自己ベストを出したい」「水泳が早く上手になりますように」のように目標を書いたもの等、いろいろな思いがしたためられています。これらからも、優しさや子供らしさを感じます。

児童玄関前に立てられた七夕飾り。この1本のために、竹を切り出したり、思いやる気持ちを書いたり、手助けしたりなど、多くの人に関わりました。七夕とは、内に秘めている優しい気持ちを表出する機会なのかもしれません。



創校記念日

7月1日(木)は、金山小学校148回目の創校記念日です。この記念日にあたり、企画委員会の子供たちが「宝さがしゲーム」を企画しました。

清掃班毎に8つのポイントを見つけて回り、企画委員が出す課題に答え、正解すると文字カードがもらえます。それを並べて一つの言葉にし、合



っているかを校長が確認します。そして合格すると「お宝」がもらえるというものです。課題は「猿楽交流で歌う曲名」「猿楽交流での曲を歌う」「白鳥の絵を描く」など、金山に縁のある課題でした。そして集めた言葉は、「かなやまのれきし」でした。

気になる「お宝」の正体は、企画委員の子が作った折り紙でした。豪華なメダルやトロフィーではありませんでしたが、どの子も嬉しそうに受け取ってくれたので、渡す方もとてもよい気持ちになりました。礼儀正しい子供たちです。

集会で話を聞く形式の創校記念日ではありませんでしたが、子供たちが学校を回って、学校に関することを考え答えた創校記念の「宝さがし」は、学校の誕生を祝うに相応しい企画だったと思います。

みんな楽しかったね。企画委員さん、ありがとう。金山小学校、誕生日おめでとう。



学校評議員会

6月29日（火）、今年度1回目の学校評議員会を行いました。学校評議員の方には、開かれた学校づくりに向けて、学校運営等についての意見を聞かせていただいています。

まず学校側より「今年度の運営方針」「目標達成に向けての具体的な取組」「地域学習」について説明をした後、評議員



の方、PTA会長さんより感想・意見をお聞きし、協議をしました。その中では「他校との交流」「取組の評価方法」「姉妹校交流のあり方」等が話題となりました。

頂戴したご意見については、今後の教育活動に生かしていきたいと思えます。

【学校評議員紹介】

中波 博英 様（金山地域振興会会長）

鈴木 敬子 様（猿楽会会長）

中波 正弘 様（金山コミュニティセンター生涯学習推進員）

校内研修

7月6日（火）、校内研修として、3年生の学級活動の授業を参観しました。議題は、『『これからがんばろう集会』の内ようとたん当を決めよう』です。

8人のクラスですが、殆どの時間、子供たちが考えを出し合って話し合いを進めていました。また友達発言を体の向きを変えて聞いたり、頷きながら聞いたり、拍手して意思表示したりするなど、常に参加して話し合いをつくり上げていました。学級活動は学級経営の基盤とも言われています。自分の思いを伝え合える素敵な学級です。

